

創立30年の歩み



協同組合 長崎卸センター

祝辞

組合設立30周年を迎えて

協同組合 長崎卸センター
理事長 武藤 嘉光



私共、協同組合長崎卸センターは、お陰様で組合設立30周年を迎えることとなりました。

これもひとえに、行政ご当局始め関係各機関の力強いご指導ご支援と、組合員各位の組合運営に対するご協力の賜物と心からお礼を申し上げます。

顧みますと当組合は、昭和47年6月長崎卸商百貨連盟を母体とし、国、県、市、商工会議所等のお力添えにより協同組合長崎卸センターが発足致しました。

以来、30年、我が国経済の大波にもまれながら、幾多の試練に遭遇し、又様々な流通革新の影響を受けながらも、組合員が一体となり、共に苦難を乗り越えて、店舗、倉庫の集団化による物流機能の高度化、近代化という組合結成の目的を果たして参りました。

これも、歴代理事役員を始め、諸先輩の先見性と情熱、並びに組合員各位の連帯意識のもとに一致協力して理想的な物流基地建設の実現に邁進して来た努力の賜物であると確信してやみません。

しかるに、昨今の社会情勢は、物流を始めとして、人、物、情報等あらゆる面において、大きな時代変革のうねりの中にあり、我々卸売業界そのものも、将来に向けていかなる変貌を遂げるのか正に幅広い対応が要求されている昨今でございます。

日々刻々と変化する経済環境に柔軟に対応し、時代を見据えた組合運営と集団化効果のより一層の追及が喫緊の課題かと存じます。

当面厳しい経営環境が続くものと思われませんが、この30周年を契機として、各企業とも経営革新に真剣に取り組み、又組合としても、組合員との連携をより密にし、機動性、柔軟性、創造性をより一層発揮して、21世紀の新しい時代に飛躍が出来る活力のある商業団地づくりに挑戦して参りたいと存じます。

幸い待望久しい日見バイパスの開通並びに高速道路の延伸など交通アクセスの改善により物流拠点としての環境も整いつつあり、今後一層の物流の効率化が図れるものと存じます。

ここに、組合設立30周年にあたり、当組合の歴史認識と広く関係先皆様のご理解を頂くために、記念誌を発行すると共に、各組合員が今後益々力を結集し、社会の要請に的確に応えられるよう、そして地域社会の発展に貢献することが出来るよう決意を新たにし、ご挨拶と致します。

祝辞

組合設立30周年を迎えて

中小企業庁

長官 杉山 秀二



協同組合長崎卸センターの創立30周年記念にあたり、一言お祝いの言葉を申し上げます。

貴組合は、経営の近代化・合理化を目指した集団化構想の下、組合員企業の経営基盤を強化し、さらには地域経済の発展に寄与するため、昭和47年に設立されました。

以来、今日までの間に、貴組合におかれましては、総合卸センターとして各種の共同事業を実施されております。各種委員会、部会活動を母体として、共同配送や共同事業の更なる高度化を目指した研究にも積極的に取り組まれ、進展する流通革新に的確に対応されつつ、卸団地としての総合力を発揮し、長崎県地域における流通の一大拠点として大きな役割を果たしてこられました。

ここに、武藤理事長を始め貴組合関係各位のこれまでのご尽力に対しまして、改めて敬意を表する次第であります。

近年、我が国の中小企業を取り巻く状況は、経済のグローバル化、消費者ニーズの多様化、ITの進展等、大きな構造変化に直面しております。

卸売業界におかれましても、景気後退の影響による市場の縮小に加え、外資の進出や新業態の台頭による競争の激化等、経営環境が厳しさを増す中で、高コスト構造是正の要請、ITの急速な進展に伴う情報化・物流効率化への機動的な対応、商慣行の見直しなど、大きな変革期に直面しており、皆様方も並々ならぬご苦勞をされていることと存じます。

このような問題の克服は決して容易なものではありませんが、卸売業はまさに「流通の中間」に位置し、多様な業種・業態との有機的な接点を有するという、他にない強みを活かしていくビジネスチャンスを持っています。その意味で、卸売業の今後の発展のためには、既存の垣根を超えつつ、その持てる機能を積極的に革新し、新しいビジネスモデルを構築していくことが求められております。

中小企業庁といたしましても、新たな産業と雇用を創出する担い手である中小企業が、現下の厳しい経営環境を克服し、活力ある成長を遂げるよう、構造改革を円滑に進めるための金融セーフティーネットの一層の充実、創業・経営革新の促進、中心市街地と中小商業の活性化等に重点をおいた支援を講じていくこととしております。

最後に、協同組合長崎卸センター及び組合員の皆様方が、この記念すべき年を契機として、さらなる発展を遂げられることを祈念いたしまして、私のお祝いの言葉といたします。

祝辞

組合設立30周年を迎えて

中小企業総合事業団

理事長 見学 信敬

このたび、協同組合長崎卸センターが組合創立30周年を迎えられましたことを、心からお祝い申し上げます。

顧みますれば、組合員の皆様におかれましては、市街地の過密化、店舗・倉庫等の狭隘化等、事業の発展を阻害する諸々の問題を解決し、経営の合理化・近代化を実現するため、昭和47年に協同組合を設立されました。

それ以来、周到な計画の下に、度重なる困難も克服され、団地建設を進められ昭和51年度に土地の造成を完成されました。昭和50年代半ばには、組合員の進出が完了し、卸商業団地を完成され、その後の団地機能の一層の充実・強化を図ってこられました。

その結果、今日では長崎県内の卸売業界の中核的流通拠点として確固たる地位を築かれ、地域経済の発展に大きく貢献されており、これは、武藤理事長を始め組合員の方々のたゆまぬご努力の賜物と、深く敬意を表する次第であります。

ご高承のとおり、中小卸売業は、景気の低迷と製造業と小売業の直接取引など、流通をめぐる様々な変化の下で、大変厳しい経営環境にあります。しかし、製造業者と小売業者を結ぶ「中間流通機能」の担い手として卸売業の役割は大きなものがあります。

こうした中で、中小卸売業が今後とも発展していくためには、経営革新への取り組み、並びに団地の活性化やリニューアルの取り組みを始め、経済社会の構造変化に対応した積極的な挑戦が不可欠と考えております。

当事業団といたしても、中小企業施策の総合的な実施機関として、高度化事業を始め各種事業による中小企業支援を積極的に実施しているところであります。

今後とも、卸売業の果たすべき社会的・経済的重要性に鑑み、卸商業団地に対して一層の支援を行って参る所存であります。

終わりに当たり、貴組合並びに組合員の皆様のなご一層のご発展を祈念いたしまして、お祝いの挨拶といたします。



祝辞

組合設立30周年を迎えて

長崎県

長崎県知事 金子 原二郎



協同組合長崎卸センター創立30周年を心からお祝い申し上げます。

武藤理事長はじめ組合員皆様方には、平素より商工業の振興はもとより県政の推進に温かいご理解、ご協力を賜っておりますことに、厚くお礼申し上げます。

さて、協同組合長崎卸センターは、昭和47年に、店舗・倉庫等卸売りに必要な施設や交通難の解消、共同施設の運営による合理化を目的として創立され、高度化資金を活用した集団化事業により、現在の地に立地されました。

以来、昭和48年のオイルショックや昭和57年の長崎大水害等々幾多の困難を克服され、ここにめでたく30周年という記念すべき節目の年を迎えられました。誠にご同慶に堪えません。

このような中、平成12年には、日見バイパスが完成し、長崎自動車道の延長工事も着々と進み、これら交通アクセスの整備は、当卸センターにとりまして、物流の発展基盤として、ますます大きな役割を担うものと期待いたしております。

ご承知のとおり、卸売業を取り巻く環境は、スーパーなどにみられる卸の選別化や、福岡など中継地点からの直接配送の増加、地場卸の主要取引先である中小小売店の減少などにより、近年ますます厳しいものとなっております。貴組合におかれましても、組合員の経営支援のための共同事業の充実強化等活力ある卸団地づくりに一層のご尽力をいただきますようお願いいたします。

県としましても、商工業の振興については、今後とも積極果敢に取り組んでまいる所存でありますので、皆様の温かいご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

終わりに、協同組合長崎卸センターの今後ますますのご発展と、皆様のご健勝、ご多幸をお祈り申し上げまして、お祝いのことばといたします。

祝辞

組合設立30周年を迎えて

長崎市

市長 伊藤 一長



協同組合長崎卸センター創立30周年を心からお喜び申し上げます。

協同組合長崎卸センターにおかれましては、店舗の狭あい化や道路混雑の激化といった環境変化のなか、昭和47年6月に県南地区の物流拠点建設に向けて長崎卸商百貨連盟を中心に組合を設立、その後8年にわたる歳月をかけ、67社が入居した卸売団地を完成され、施設運営、事業の共同化など不断の経営努力により合理化を図られてきております。

おりしも、創立が、九州横断自動車道「大村ー長崎」整備計画決定の年であり、今後ますます、交通・流通体系の変化が予想されるなかで、いち早く、集団化に踏み切られた先見の明には深く敬服いたす次第であります。

その後も、地域物流の効率化と卸機能の充実に努められる一方、平成元年から実施されている卸センターまつりは、毎年多くの来場者で賑わい、地域の一大イベントとして定着し、地域振興にも多大なるご貢献いただいているところであります。

現在、様々な規制緩和や多様化する消費者ニーズに加え、情報技術の進展により、流通業界にも様々な変化の波が押し寄せてきております。貴組合におかれましては、是非、情報機能の充実をさらに図られ、集団化の強みを活かしながら、各企業の独創性あふれる経営戦略によりこの波を乗り越えていただきたいと存じます。

終わりに、長崎卸センターの30年の歴史を築きあげられた歴代の役員様をはじめ、会員の皆さまのご尽力に敬意を表しますとともに、貴組合の将来にわたるご繁栄を祈念し、お祝いの言葉といたします。

祝辞

組合設立30周年を迎えて

商工中金

理事長 江崎 格

このたび、協同組合長崎卸センターが創立30周年を迎えられましたことを、心よりお祝い申し上げます。

貴組合におかれましては、昭和47年6月、長崎市内の卸機能整備の必要性から、共同施設の運営による合理化・集団化を目的に設立されて以来、金融事業をはじめ各種共同事業を積極的に推進され、今日では組合員65社を擁する全国屈指の卸団地組合として、また長崎の重要な物流拠点として発展を遂げてこられました。

これもひとえに、歴代の理事長をはじめ役職員・組合員の皆様方のたゆまざるご努力の賜物であり、深く敬意を表す次第であります。

また、私ども商工中金に対しまして、貴組合設立以来、共同事業に係る資金のお借入や組合員の皆様とのお取引等を通じまして、永きにわたり格別のご愛顧とご支援を賜ってまいりましたことに厚く御礼申し上げます。

さて、わが国経済は、経済のソフト化、サービス化、グローバル化が進展する中、規制緩和や経済構造改革が進行するなど大きな構造変革の時代に直面しており、将来にわたり確固たる成長軌道を歩んで行くための、極めて重要な段階にあるといえます。このような環境のもと、中小企業には「わが国経済のダイナミズムの源泉」としての役割を担いつつ、持ち前の機動性や創造性を発揮し、発展していくことが期待されています。

貴組合におかれましては、この意義ある30周年を契機として、これまで培われました豊富な経験と知識をいかんなく発揮され、この変革期を飛躍へのチャンスとしてとらえ、業界が直面するさまざまな課題に果敢にチャレンジされるならば、必ずや更なる発展の礎を築いていかれるものと確信いたしております。

私ども商工中金といたしましても、政府系の、組織金融機関として皆様方の幅広いニーズにお応えできるよう更なる努力を続けてまいりますので、今後とも格別のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

最後に、貴組合のますますのご発展と、組合員の皆様方のご繁栄を心からお祈り申し上げまして、お祝いの言葉といたします。



祝辞

組合設立30周年を迎えて

長崎県中小企業団体中央会

会長 林田 武



協同組合長崎卸センターの創立30周年を心からお慶び申し上げます。

貴協同組合は昭和47年6月、長崎市を中心に市街地に散在する県南地域の卸売業者が、用地の狭隘、交通事情の悪化及び交通規制の強化等、立地上の諸制約から卸売機能が著しく阻害され、企業の成長発展に大きな問題となっていたことから、市街地から移転し、立地改善と近代的・合理的な卸売機能の充実を図るべく、卸団地の集団化が構想され、長崎卸商百貨連盟（24社）を中心に、協同組合長崎卸センターを設立なされました。

顧みますと、協同組合が発足し昭和48年11月、集団化の計画診断がスタートし昭和51年～59年にかけて9回の建設診断が実施されました。

しかし、昭和48年第1次オイルショック及び53年の第2次オイルショックによる世界的な需要構造の激変により、先行き不安感から参加組合員の脱退が相次ぎ、遊休地の売却による団地規模の縮小など、まさに苦難の連続であったろうと思われまます。

その後組合員の確保もあり、昭和51年10月組合会館完成、52年3月～55年以降67社の組合員企業の建設が完了し、営業活動が開始され、現在の確固たる経営基盤を築かれましたことは、これひとえに、来るべき飛躍に備えてご努力を続けてこられた組合役職員並びに組合員の方々のご努力の賜ものとあらためて敬意を表するものであります。

ご高承のとおり、今日中小企業を取り巻く経営環境は、消費者ニーズの多様化、国際化・技術革新・情報化等の急速な進展に加え、最近の世界経済情勢の大きな変貌により一段と厳しさをます状況下にあります。

とりわけ、中小卸売業は、地域中小小売店の減少、大手スーパーの増大、コンビニエンス・ストア等小売業態の変化に加え、物流問題等環境変化に直面しており、これら変化に的確に対応した機能の強化と流通の合理化・効率化が迫られております。

このような状況の中にあって、貴協同組合は、金融事業、賃貸事業、（共同展示ホール・共同駐車場・グラウンド・その他）高速道路別納事業、共同給油事業に加え、独身寮の設置等の福利厚生事業等の共同事業を積極的に展開、また「長崎卸センターまつり」も地域に根ざした「まつり」となるほど業界の振興発展、組合員の経営の安定に多大の貢献をしておられます。

今後、さらに経済環境は目まぐるしく変化すると思われまますが、貴協同組合におかれましては、この30周年を契機に一層の組合事業の活性化を図られまますようご期待申し上げます。

最後に、貴協同組合の益々のご繁栄と組合員皆様のご健勝ご多幸を祈念申し上げますお祝いの言葉と致します。

祝辞

組合設立30周年を迎えて

全国卸商業団地協同組合連合会

会長 玉利 半三



この度、協同組合長崎卸センターが組合創立30周年を迎えられるに当たり、全国卸商業団地協同組合連合会を代表して心よりお祝い申し上げます。

顧みますと貴団地は、市内に散在する中小卸売業者が直面する店舗・倉庫の狭隘化、駐車難等の諸問題を解消するとともに、組合員企業の経営の合理化・近代化を図り、流通を通じて地域経済発展に寄与するため昭和47年集団化計画に着手されました。

爾来、30年の永きにわたり幾多の困難を克服し、組合会館・独身寮等の共同施設の設置はもとより、金融事業、教育研修事業、福利厚生事業等各種共同事業の推進、また団地祭りの開催、夢彩都の建設等地域交流を積極的に図られ、九州地区の一大流通拠点として今日の隆盛を見られましたことは、誠にご同慶にたえません。

これもひとえに、武藤理事長さんをはじめとする組合役職員並びに組合員の皆様の強固な団結とご努力のたまものと深甚の敬意を表します。

ご高承のとおり、今日卸売業を取り巻く経営環境は、益々厳しいものがあり、流通構造の激変により卸売業の存立基盤は大きく揺らぎ、かつてないほど卸売業の合理化・近代化が強く要求されております。

一方卸団地も、用地狭隘化、施設の老朽化に加え、企業格差が益々拡大するなど団地開設時とは大きな様変わりを見せており、卸団地が文字通り地域流通の要として発展するためには、ハード・ソフト両面にわたる団地の再整備が急務の課題となっております。

貴センターにおかれましては、この30年を一つの節目として、益々結束を固められ、より一層ご発展されますよう祈念してお祝いの言葉と致します。

歴代三役

理事長



松島福男
S47.4~S57.9



成宮健一
S57.9~S58.5



前田圭一郎
S58.5~H7.5



武藤嘉光
H7.5~

副理事長

頓田敏夫	昭和47年 4月~昭和48年 1月
中村房一	昭和47年 4月~平成13年 5月
脇山寛	昭和48年 5月~昭和51年 5月
成宮健一	昭和52年 5月~昭和57年 9月
脇山良一	昭和57年 9月~平成 3年 5月
阿倍博一	昭和58年 9月~昭和61年 5月
藤村哲朗	昭和62年 5月~平成 8年 5月
武藤嘉光	平成 3年 5月~平成 7年 5月
扇道徳	平成 7年 5月~現在に至る
村上幸三	平成 9年 5月~現在に至る
西隆義	平成13年 5月~現在に至る

専務理事

浜辺陸郎	平成 4年 4月~平成13年 5月
------	-------------------

常務理事

野村耕治	昭和50年 5月~昭和54年 5月
	昭和59年 5月~昭和62年 5月
磯辺重孝	昭和54年 5月~昭和59年 5月
浜辺陸郎	昭和62年 5月~平成 4年 3月
田中良光	平成13年 5月~現在に至る

現在の役員

相談役



中村 房一 長崎月星(株)



理事

理事長	武 藤 嘉 光	ム ト ウ 電 材 (株)
副理事長	扇 道 徳	扇 精 光 (株)
副理事長	村 上 幸 三	村 上 ホ ン ダ 販 売 (株)
副理事長	西 隆 義	チ ョ ー コ ー 醤 油 (株)
常務理事	田 中 良 光	(株) 協 長 崎 卸 セ ン タ ー
理 事	手 塚 喜 三 郎	手 塚 商 事 (株)
〃	脇 山 崇	(株) 入 来 屋
〃	矢 島 康 晴	長 崎 ア サ ヒ 販 売 (株)
〃	西 川 範 子	(株) 丸 本
〃	田 中 勝 幸	(株) ク リ ー ン ・ マ ッ ト
〃	石 丸 利 行	(株) イ シ マ ル
〃	岡 部 勝 也	(株) オ カ ヘ
〃	小 淵 孝 憲	(株) コ ブ チ
〃	藤 村 昌	(株) 藤 村 薬 品

監事

監 事	牟 田 健 一	(株) サンヨー自動車
〃	岡 淳 兵	(有) 吉 次 商 店
〃	林 哲 朗	(株) シ バ ト ウ

組合創立30周年の歩み

集団化事業 の背景

溯れば昭和44年頃、長崎市内に散在していた卸売業は、売り上げの増加に伴い店舗、倉庫が狭くなり自社前の道路は一方通行等の交通規制で物流機能に支障を来してきた。

そこで卸売に必要な施設や交通難の解消、共同施設の運営による合理化を目的として長崎卸百貨連盟が中心となり昭和47年に組合を設立した。

この様に長崎卸センター建設の動機は組合員企業の施設面からの卸機能の整備であった。

組合設立と同時に組合単独で用地買収に入ったが当時、地主が223名、筆数664筆、そして地目が山林、田、畑、原野であった為に当時の組合役員は用地買収に相当の苦勞をした。

また、用地買収に加え当該用地が市街化調整区域であった為に上下水道の施設等、本来の公共工事も含め組合単独で行った。

そして、山間部を切り開いた為に造成途上に山崩れも発生し進入口をトンネル工法に切り替えたり予想外の難工事で工期が9ヶ月延びた事や昭和48年に発生した石油ショックによる建設資材の高騰、組合員の相次ぐ脱退と当初計画を大幅に上回る投資規模となり、これが結果的には公共用地として約5分の1を売却せざるを得ない事となった。

用地買収は昭和47年にはじまり造成は昭和49年7月に着工、昭和51年10月に開発面積502,866㎡、有効面積360,466㎡で完成。

組合員各企業の建設は、昭和52年3月～55以降67社が建設完了し日常の営業活動を行っている中でより効率を求める声が組合員より上がってきた為、団地当初からの組合施設の組合員賃貸事業の他、共同でのガソリン購入や高速道路別納料金支払いの一元化など組合収益事業にも積極的に取り組んでいる。

そして現在、物流合理化問題を形成の出発点とした当組合は業種構成、バランス、企業の層の厚さ、仕入れ先と結合度の強さに於いてすぐれたものを発揮している。

又、メーカーが産出する大量の商品群を配送する単なる物流基地ではなく、地場の消費者ニーズを集約し加工してメーカーサイドに伝える一方で消費者ニーズと製品の出会いを情報化し、企画して絶えず地域市場にフィードバックさせる情報機能をもっている企業も数多い。

そして、長崎卸センター加入企業の年間総売上高は1,310億円、県内卸売上高の2割を占めるに至り県民の生活に大いに貢献している。

事業活動の 概要

先にも述べた様に集団化して組合単独で土地の取得、開発を行い、上下水道も組合単独で完備し団地を完成させた。

共同事業としては金融事業の他、展示場、共同駐車場、共同給油事業、高速道路別納制度等を行っている。

その他の組合事業として合同入社式、集団健康診断、ナイターソフトボール大会等の福利厚生事業を行っており今年で13回目の開催となる「長崎卸センターまつり」は、毎年盛大に開催され今や、すっかり地域に根ざした「まつり」となっている。

また、福利厚生面においては平成3年～平成5年まで育児支援トータルプラン援助事業に取り組み働く女性にとって仕事も家庭も充実した生活を営む事ができる働きやすい魅力ある職場作りを進めてきた。

そして平成3年～平成6年まで人材確保援助事業として、職場環境の改善、募集採用の改善、労働時間の短縮等に取り組み、その一環として福利厚生施設の充実と労働力の確保を行う為に平成8年建設費の80%無利子という国の補助を受けて独身寮を建設した。

独身寮は橘湾を一望する絶景の場所で地上6階建てで1Kが45室、2Kが10室、1階には入居者及び団地内社員の為にアスレチック室、2階には談話室、3階にはコインランドリー室も完備し、一人住まいの気楽さを充分満喫できる居住空間になっている。

平成9年には活路開拓事業、平成10年には地域卸売業活性化推進事業に取り組み物流の効率化に向けての研究を行い平成11年には地域中小企業物流連携支援事業に取り組み団地内イントラネットの構築並びに団地内ネットワーク事業についての研究を行い情報ネットワークの一環として、組合のホームページを作成し情報交換と各企業のPRに活用中。

また、アーバンルネッサンス2001構想で長崎港のベイエリアにウォーターフロントのにぎわいの先導役として県内最大規模の商業施設「夢彩都」が平成12年4月にオープンした。

同施設については長崎卸センターサービス(株) (資本金250百万円、全組合員出資)が「夢彩都」建設用地5,100坪の内500坪を所有。

当該地4,600坪を所有している長崎ベイサイドモールと一体となり大型商業施設を建設し(株)イズミ(夢彩都)へ賃貸する事となり長崎港を巡って展開される「みなと長崎」再整備の一助を担う事となった。

成 果

この30年間で流通の拠点としての機能を備えるとともに卸売業としての必要な倉庫、配送施設を備えた設備を少ない投資で完成すると共に共同施設として展示場、運動場、駐車場を組合資産として建設し、組合及び組合員の資産の有効活用と効率化を図っている。

また、労務・厚生事業として人材育成の為に研修及び独身寮の建設により雇用の定着化と社員のモラルの向上が図られている。

さらに各種委員会、部会活動を母体として、より高度な組合経営支援となる共同配送及び共同事業の研究にも取り組んでいる。

立地状況

長崎市の東部に位置し中心部から20分ほどの距離にある団地周辺の東長崎地区は長崎市のベッドタウンとしての開発が進み周辺の人口が増えて来た。

その結果、長崎市内配送の際の交通渋滞が激しくなってきたが、長年の懸案であった日見バイパスが平成12年に完成し団地と中心部の交通アクセスは、かなり解消されて来た。

日見バイパスは長崎市における国道34号線の交通混雑を緩和し、長崎市の東西方向の交通網を強化するために計画された延長7.1kmのバイパスで、将来長崎自動車道の延伸部(長崎多良見I.C~長崎市早坂町)長崎外環状線などと接続される事や団地に隣接する芒塚町に高速道路のインターが出来ると等団地周辺の道路網が強化されて行く計画であり、今後の物流の活性化に大いに貢献する事が期待される。

組合の概要

組合名	協同組合長崎卸センター	住所	〒851-0134 長崎市田中町1201		
設立	昭和47年6月	出資金	17,530万円	TEL	095-837-8111 FAX 095-837-8081
団地形態	事業協同組合	造成完成	昭和51年10月	地区	長崎県南
理事長名	武藤嘉光	理事	14名	監事	3名
組合事務局職員	男子4名 女子2名 計6名				
事務局責任者	(役職)常務理事 (氏名)田中良光				
組合員	65社				
社員	1,608名(男 1,233名 女 375名)				
年間売上高	1,310億円				

集団化事業規模

	土地	建物
組合	181,700m ²	4,425m ²
組合員	142,266m ²	81,024m ²
道路・公共用地他	178,900m ²	
合計	502,866m ²	85,449m ²

共同施設

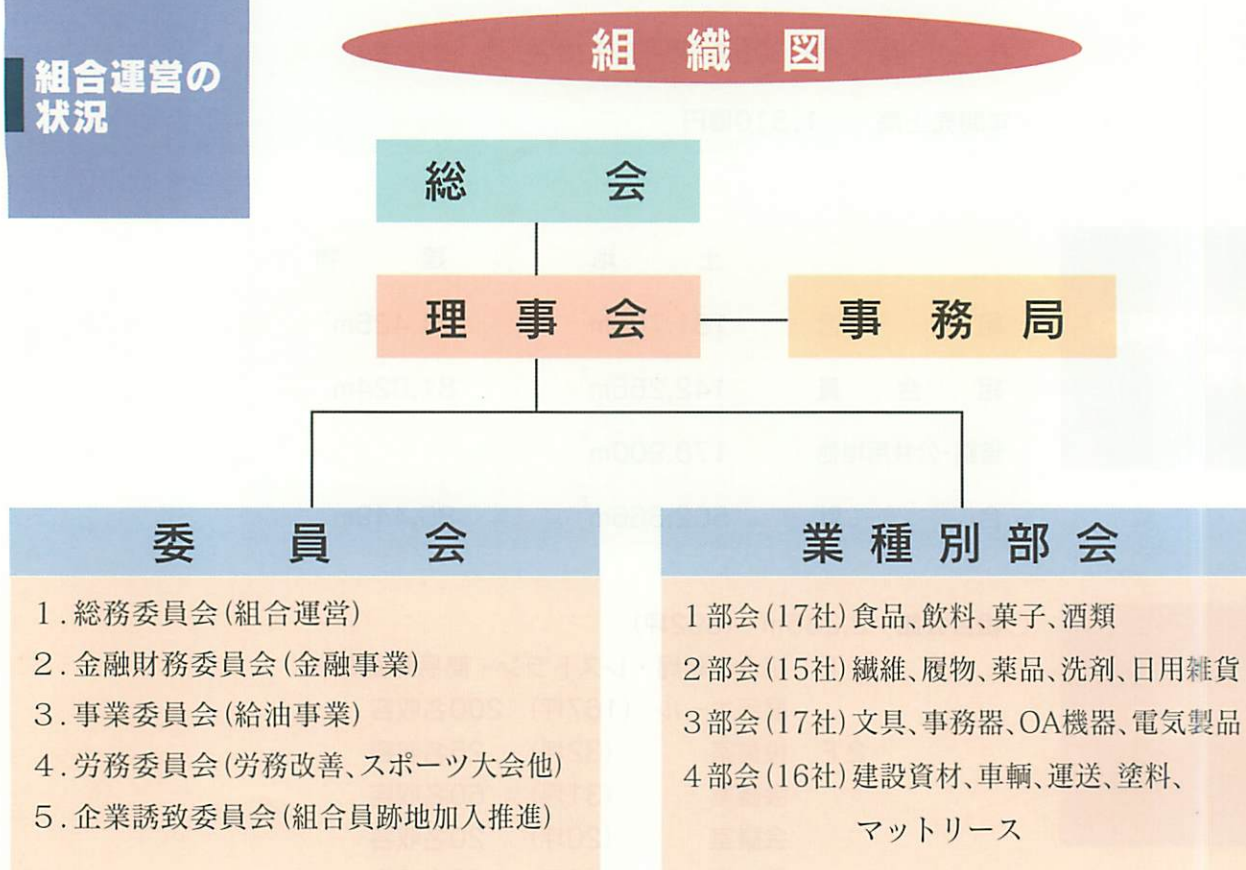
- 組合会館 2,285㎡ (692坪)
 - 1 F 組合事務局・レストラン・簡易郵便局
展示ホール (167坪) 200名収容
 - 2 F 役員室 (32坪) 25名収容
 - 会議室 (31坪) 60名収容
 - 会議室 (20坪) 20名収容
 - 和室 (19坪) 40名収容
 - 長崎卸センターサービス(株) (11坪)
 - 東長崎ロータリークラブ (8坪)
- 独身寮 2,140㎡ (647坪)
鉄筋コンクリート造6階建55室 (1 K 45室・2 K 10室)
- 駐車場 907台収容

集団化 事業費

用地取得費	1,190,306千円
用地造成費	3,168,145千円
組合会館	176,440千円
共同施設	510,471千円
組合員建物	4,603,728千円
合計	9,649,090千円

組合運営の 状況

組織図



○委員会・部会の活動状況

組合の事業推進と諸問題解決の為、それぞれの委員会で検討し部会では、全業種の組合員の意見が反映できる組織運営体制としており、委員会、部会とも必要に応じて会議及び研究会を開催している。

また、団地内企業の中堅幹部で組織する「青年会」は昭和62年6月に結成され毎月、定例会、研究会を開催し「長崎卸センターまつり」の企画から運営まで行っている。

○関連会社

長崎卸センターサービス (株)

社会の出来事

「10年のあゆみ」で編纂済

(1972～1981) 昭和47年～昭和56年

1972 (S47)

- 1月 グアム島からの帰還兵、横井庄一氏が28年ぶりに発見された。
- 2月 アジア初の冬季オリンピック札幌大会が開幕され70級ジャンプで笠谷、金野、青地の日本勢が金、銀、銅、メダルを獲得した。
- 5月 田中角栄の日本列島改造論構想が打ち出された。

1973 (S48)

- 8月 韓国中央情報部金大中氏を日本から拉致。
- 11月 第1次オイルショック、日本社会を直撃する。

1974 (S49)

- 3月 小野田寛郎兵士30年ぶりの復員。
- 5月 コンビニエンスストア日本誕生。
- 8月 ウォーターゲート事件でニクソン政権崩壊。
- 10月 長島茂雄、ジャイアンツ引退。

1975 (S50)

- 11月 第1回サミット、フランスで開催。

1976 (S51)

- 3月 アメリカで尊厳死認める。
- 9月 毛沢東82才の生涯をとじる。

1977 (S52)

- 3月 王貞治ホームラン世界一に。(通算756号)
- 9月 日本赤軍のハイジャック、超法規的措置で解決。
- 10月 超音速旅客機コンコルド、パリN.Y間に就航。

1978 (S53)

- 3月 仏海域でタンカー座礁、史上最悪の海洋汚染事故。
- 5月 成田新東京国際空港が開港。
- 7月 イギリスで試験官ベイビー誕生。

1979 (S54)

- 5月 英国で初の女性首相サッチャー内閣誕生。
- 5月 PC-8001 (パーソナルコンピュータ) が新登場。

1980 (S55)

- 7月 鈴木善幸内閣成立。
- 9月 イラク、イラン戦争勃発。
- 11月 レーガン第40代米大統領に就任。

1981 (S56)

- 6月 20世紀の難病、エイズが確認される。
- 7月 英、チャールズ皇太子、ダイアナ妃と結婚。
- 10月 エジプトのサダト大統領暗殺。

協同組合長崎卸センターと社会の歩み

組合の出来事

「10年のあゆみ」で編纂済

(1972～1981) 昭和47年～昭和56年

1972 (S47)

- 4月 4日 創立総会が組合員70名にて開催され理事長、松島福男、副理事長、中村房一、頓田敏夫が選出される。
- 9月14日 団地候補地を現在地に決定し県、市、関係機関と協議にはいる。
- 3月15日 理事会を開催し直ちに用地買収を開始した。

1973 (S48)

- 10月24日 土地計画法第29条による団地開発の許可がおりる。
- 1月26日 全員協議会を開催し用地買収造成資金計画等を協議する。
- 3月29日 造成工事入札、9業者により行われる。

1974 (S49)

- 7月 2日 造成工事起工式挙行。
- 10月22日 先進団地視察。(大阪繊維、有田陶磁器、鹿児島総合団地等を視察)

1975 (S50)

- 6月23日 設計を日本エンジニアリング(株)に決定する。
- 7月 4日 全員協議会を開催し組合員配置計画について協議
- 1月20日 建設診断実施。(20日～28日)

1976 (S51)

- 4月26日 組合会館起工式
- 9月末 第一污水处理施設完成。
- 9月28日 造成完了検査実施。
- 10月末 団地造成、組合会館竣工落成式挙行。
- 3月末 一次組合員31社店舗落成。

1977 (S52)

- 3月末 二次組合員12社店舗落成。

1978 (S53)

- 6月28日 県営バス団地乗り入れ認可。
- 2月末 商工中金出向常務理事の更迭。(野村耕治氏から磯辺重孝氏)
- 3月末 三次組合員7社 店舗落成。

1979 (S54)

- 10月31日～12月19日 建設省、県(教職員宿舎)、十八銀行へ土地を譲渡。
- 3月22日 戸石、矢上、網場漁協と公害防止協定を締結。

1980 (S55)

- 5月18日 団地大運動会開催。
- 9月19日 二次污水处理場完成。
- 12月 4日 四次組合員4社店舗落成。
- 3月末 五次組合員2社店舗落成。

1981 (S56)

- 8月25日 店舗集団化事業完了

過去20年間の社会の出来事 (1982~2001) 昭和57年~平成13年

- 1982/ 2 ホテルニュージャパンで大火災。
- 1982/ 2 米女子プロゴルファーツアーで岡本綾子選手が初優勝。
- 1982/11 ブレジネフ書記長死去。
中曽根康弘内閣成立。
- 1983/10 田中首相に実刑判決。
- 1984/10 香港返還について中国と英国合意に達する。
- 1985/ 9 メキシコで大地震発生。
- 1986/ 4 チェルノブイリ原子炉爆発、最悪の惨事。
- 1987/ 4 日本国有鉄道が民営化。
- 1988/ 3 世界最長 (53.85K) の青函トンネル開通。
- 1988/11 アメリカ大統領にブッシュ氏が当選。
- 1989/ 1 在位62年、昭和天皇没し、新年号は「平成」に決まる。
- 1990/ 5 日本のバブル経済崩壊。戦後最大の不況時代に突入。
- 1991/ 6 雲仙普賢岳噴火。
- 1992/ 3 米大統領選で民主党のクリントン勝利。
- 1993/ 8 細川連立政権誕生。
- 1995/ 6 村山富市連立内閣が発足。
- 1996/ 4 日本政府が沖縄の普天間基地返還に合意。
- 1997/ 9 マザーテレサ死去。
- 1998/ 5 インドが連続核実験、世界に「核保有国宣言」
- 1999/ 1 南米コロンビアで大規模な地震が発生、被害者25万人以上。
- 2000/ 4 小渕内閣総辞職、森連立内閣がスタート。
- 2001/ 6 ハンセン病補償法が成立。
- 2001/ 9 米中枢に同時テロ多発事件発生。
- 2001/10 米英、アフガニスタン報復空爆。
- 2001/11 池島炭鉱の閉山、42年の歴史に幕。
- 2001/12 皇太子ご夫妻に内親王誕生。

過去20年間の組合の出来事

毎年開催行事

組合総会・組合新年会・新入社員合同入社式
長崎卸センターまつり
ナイターソフトボール大会
卓球大会・テニス大会・ボウリング大会

毎月開催行事

組合理事会・各部会・青年会・定例清掃

必要に応じ開催

各委員会・各種研修会

LION
組合

昭和57年度

昭和57年 4月12日	新入社員合同入社式
昭和57年 5月24日	組合通常総会
昭和57年 7月 2日	記念誌委員会
昭和57年 7月31日	第8回長崎県献血推進大会感謝状授受
昭和57年 8月24日	理事会 新理事長選考について審議 長崎大水害、団地内被害箇所の復旧について審議
昭和57年 9月16日	理事会 長崎大水害に係る融資について審議
昭和57年 9月21日	山口流通センター卸事業準備会、団地視察
昭和57年10月20日	昭和57年度進出企業診断
昭和57年11月 7日	卓球大会
昭和58年 1月 7日	新年交歓会
昭和58年 1月17日	合同成人式
昭和58年 2月 7日	先進地視察 金沢、福井
昭和58年 2月20日	先進地視察 静岡、浜松

昭和58年度

昭和58年 6月 6日	理事会 定款の一部変更について審議
昭和58年 6月21日	理事会 委員会の編成について
昭和58年 7月14日	理事会 簡易郵便局の開設について審議 金融規約改訂案について
昭和58年 8月 9日	理事会 団地専用水道を市水道に接続する事について審議
昭和58年10月23日	大運動会
昭和58年11月 9日	共同福祉施設設置と運営に関し労働大臣表彰授受
昭和58年11月11日	郷土史家 永島正一先生講演 「長崎町人魂」
昭和59年 1月11日	理事会 団地内未利用地の活用について審議
昭和59年 3月19日	団地内進出企業の診断結果報告

昭和59年度

昭和59年 4月 2日	運転免許証更新講習会
昭和59年 5月26日	59、60年度高度化事業ヒヤリング
昭和59年 6月 1日	理事会 団地バスの存廃問題について審議 空地並びに倒産組合員の跡地の整理促進について
昭和59年 7月 6日	第6部会法務研修会
昭和59年 8月10日	団地夏まつり
昭和59年 8月15日	第七回卓球大会
昭和59年10月 5日	長崎市立古賀小学校団地見学
昭和59年11月 2日	理事会 活路開拓事業について審議
昭和59年11月16日	第二回文化祭
昭和60年 1月 8日	理事会 組合用地を九電へ売却する事について審議
昭和62年 2月14日	理事会 レストラン委託先の変更について審議
昭和60年 3月 6日	郷土史家 越中哲也先生講演会 「長崎事始め」

昭和60年度

昭和60年 4月 2日	理事会 委員会、部会の再編成について
昭和60年 7月 2日	長大教授 川崎 宏先生講演会 「人間の心」
昭和60年 7月23日	高校生職場見学会
昭和60年 7月25日	理事会 長崎市水道切り替え工事に伴う契約締結について審議 日見バイパス道路拡張工事に伴う組合用地の売却について審議
昭和60年 9月 5日	理事会 組合用地を松早石油に売却することについて審議
昭和60年10月 2日	理事会 昭和61年度活路開拓調査事業について審議 組合創立15周年事業について審議
昭和60年12月23日	長崎市上水道への切り替え完了
昭和61年 2月26日	全員協議会

昭和61年度

昭和61年 4月 1日	大牟田物流センター委員会来局
昭和61年 7月 3日	中野蒲鉾社長 中野尚弘先生「企業のチームワーク作り」
昭和61年 8月 1日	中小企業事業団来局
昭和61年10月20日	活路開拓委員会先進地視察（八戸、盛岡）
昭和61年11月 6日	所有権移転問題研修会
昭和61年11月15日	唐津総合卸センター若手会来局
昭和62年 1月23日	理事会 小型焼却場の増設について審議
昭和62年 2月16日	組合創立15周年記念行事について
昭和62年 3月23日	理事会 売上税導入反対運動について審議
昭和62年 3月23日	活路開拓委員会先進地視察（八戸、盛岡）

昭和62年度

昭和62年 4月10日	売り上げ税反対県民会議総決起大会 200名参加
昭和62年 6月 9日	組合創立15周年記念行事
昭和62年 6月11日	長崎県へ道路問題陳情
昭和62年 6月24日	理事会 卸団地ビル電話の撤去について審議 S東美共同配送についての研究会
昭和62年 9月 7日	理事会 国道34号日見バイパス建設に伴う高度化対象用地の一部売却について審議
昭和62年 9月21日	団地ビル電話全面移転
昭和62年10月25日	団地五種競技（囲碁、麻雀、将棋、テニス、卓球）
昭和62年11月 8日	長崎バイオパーク園長 粕井正五先生講演会「バイオの世界」
昭和62年11月10日	大阪玩具流通センター20名来局
昭和63年 3月12日	理事会 土地の担保評価額変更について審議
昭和63年 3月18日	理事会 看板規定の見直しについて審議

昭和63年度

昭和63年 4月13日	日本銀行来局
昭和63年 6月10日	長崎県立諫早養護学校団地見学
昭和63年 6月20日	青年部「継成会」設立総会
昭和63年 6月22日	土地所有権問題特別委員会設置について審議
昭和63年 7月20日	企画委員会の設置について
昭和63年 8月 9日	土地所有権問題全体説明会
昭和63年 9月21日	土地所有権問題全体説明会
昭和63年10月 3日	中国研修生団地視察
昭和63年10月 4日	土地所有権移転に係る臨時総会
昭和63年10月17日	富江商工会青年部団地視察
昭和63年10月21日	長与洗切小学校団地見学
昭和63年11月12日	延岡卸商業センター青年部来局
平成元年 1月18日	臨時総会 団地グラウンドと元船埋立地との等価交換について協議
平成元年 1月19日	福岡流通センター来局
平成元年 1月26日	週休2日制導入推進会議
平成元年 2月17日	労働時間短縮推進会議
平成元年 2月27日	土地所有権移転に伴う金融規定について審議

平成元年度

平成元年 4月21日	労働時間短縮援助事業への取り組みについて審議
平成元年 5月14日	第1回長崎卸センターまつり開催
平成元年 7月14日	遠東貿易サービスセンター来局
平成元年 9月 7日	大蔵省主税局来局
平成元年10月21日	継成会特別研修会 「伊王島」
平成2年 2月22日	日見バイパス早期完成について県知事に陳情
平成2年 3月22日	組合理事先進地視察 (福岡)

平成2年度

平成2年 4月 9日	佐賀卸団地来局
平成2年 4月20日	団地活性化基本計画について審議
平成2年 4月24日	視聴覚社員研修会 「天秤の詩」
平成2年 7月11日	第6部会県外視察 (鹿児島)
平成2年 7月19日	国道34号線並びに日見バイパス早期完成陳情
平成2年 9月 5日	松江卸団地来局
平成2年10月 3日	理事先進地視察 (尾道、岡山、米子)
平成2年11月 8日	十八銀行卸センター支店竣工
平成2年12月14日	理事会 長崎市水道局土捨て場計画(団地隣接地)への協力について審議
平成3年 1月21日	理事会 市街化区域編入に係る対応について審議
平成3年 2月20日	理事会 同和問題研修について審議
平成3年 3月 6日	松江流通団地来局
平成3年 3月28日	理事会 中尾ダム建設に伴う九州産交への土地売却について審議 「労働福祉改善協議会」の発足について審議 「活性化基本計画の推進」について審議

平成3年度

平成3年 6月12日	営業部長クラス研修会 (伊王島)
平成3年 6月20日	継成会創立記念特別例会
平成3年 7月22日	高校新卒予定者職場見学会
平成3年 9月 4日	理事会 国道34号の道路標識の設置について
平成3年10月17日	東福岡卸団地青年部来局
平成3年10月19日	防府卸団地来局
平成3年10月29日	時短講習会
平成3年11月14日	育児トータル支援委員会県外視察 (鹿児島)
平成3年11月18日	理事会 台風復旧工事について審議
平成3年12月 5日	理事会 長崎卸センター厚生年金基金推進委員会の設立について審議 緑地の整備計画について審議 長大のり面のボーリング調査について審議
平成3年12月18日	育児トータル支援委員会県外視察 (福岡)
平成4年 2月 4日	鳥栖商工センター来局
平成4年 3月 7日	新下関卸団地来局
平成4年 3月13日	筑後経営センター来局

平成4年度

平成4年 5月 7日	理事会 団地内緑化計画について審議
平成4年 5月15日	組合創立20周年記念植樹
平成4年 7月 3日	熊本流通団地青年部来局
平成4年 8月24日	大分県自動車販売店協会来局
平成4年 9月21日	熊本県本渡商工会議所、鹿児島卸団地来局
平成4年 9月24日	育児トータル支援委員会県外視察（愛媛）
平成4年10月12日	理事会 団地グラウンドと元船埋立地との交換について審議
平成4年10月23日	山口県流通センター来局
平成4年11月13日	北海道労務改善協議会来局
平成5年 2月 8日	育児トータル支援委員会県外視察（山口県）
平成5年 3月 8日	先進地視察（横浜）
平成5年 3月15日	育児トータル支援委員会開催

平成5年度

平成5年 5月18日	第六部会オーナー研修会
平成5年 7月 9日	継成会企業視察（熊本）
平成5年 7月12日	高校進路指導者団地視察
平成5年 9月24日	台風被害桜倒木復旧工事について審議
平成5年10月 4日	人材確保援助事業委員会県外視察（熊本）
平成5年10月12日	育児トータル支援委員会県外視察（箱根、横浜）
平成5年10月20日	勤労青少年海外派遣（中国）
平成5年11月18日	熊本流通団地来局
平成5年11月24日	札幌卸団地来局
平成5年11月26日	東京出版協同組合来局
平成5年12月 6日	八代地区中小企業集団連絡協議会来局
平成5年12月14日	污水管を市へ移管する事について審議
平成6年 2月 7日	鳥栖商工センター来局
平成6年 2月 8日	山口商工会議所来局
平成6年 2月16日	岡山県卸センター来局
平成6年 2月17日	金沢問屋センター来局
平成6年 3月 2日	日本総合研究所来局

平成6年度

平成6年 5月27日	理事会 元船土地取得に関する覚え書きについて審議 独身寮の建設について審議
平成6年 7月14日	団地物件所有形態検討委員会
平成6年 8月 3日	離島地区新規高卒者見学会
平成6年10月20日	パソコン研修会
平成6年11月28日	マルチメディア講演会
平成7年 1月19日	介護休業制度先進地視察（広島県）
平成7年 2月 7日	人材確保先進地視察（熊本）
平成7年 2月 9日	CLC（サンビック物流センター）視察
平成7年 3月 6日	五島地区雇用協議会来局
平成7年 3月23日	理事会 再売買予約に基づく即決和解調書付所有権移転 請求権保全仮登記の期限後対応について審議

平成7年度

平成7年 6月21日	尼崎工業会来局
平成7年 7月 8日	大阪府卸団地連合会来局
平成7年 7月 4日	障害者雇用開発促進キャンペーン隊来局
平成7年 7月26日	理事会 独身寮建設について
平成7年 8月 4日	小浜旅館組合来局
平成7年 8月26日	理事会 組合用地の九電への売却について審議
平成7年 8月29日	大阪テントシート（協）来局
平成7年 9月 8日	長崎県高度化事業関係現地視察
平成7年 9月27日	理事会 団地のり面開発計画と公園緑地について審議
平成7年10月 5日	人材確保委員会先進地視察（広島）
平成7年10月16日	過積載防止月間陸運局来局
平成7年10月23日	働く若者海外フレンドシップ事業参加（中国2名）
平成7年11月28日	高崎卸商社外来局
平成8年 2月22日	理事会 独身寮建設見積もり業者の選定について審議 独身寮施工業者の選定について審議
平成8年3月8日	仕事と介護両立支援事業推進会議
平成8年3月14日	パートタイマーモデル就業規則報告会
平成8年3月22日	独身寮現場説明会、入札

平成8年度

平成8年 5月14日	独身寮建設起工式
平成8年 6月14日	山梨県流通センター青年部来局
平成8年 7月25日	改正消費税セミナー
平成8年 9月13日	継成会先進地視察（鹿児島）
平成8年 9月19日	理事会 水道局への、のり面一部売却について審議 公園整備について審議
平成9年 2月27日	理事会 ベイサイドモールへの資本参加について審議
平成9年 3月24日	長崎卸センター独身寮落成式

平成9年度

平成9年 5月12日	アクションプラス委員会（物流）
平成9年 7月24日	理事会 組合定款の一部変更について審議
平成9年 7月30日	離島地区職場見学会
平成9年 9月19日	長崎卸センター青年会先進地視察（佐賀、久留米）
平成9年 9月21日	理事会 組合定款の一部変更について審議 賛助会員規約制定について審議
平成9年 9月25日	理事会 賛助会員の審査基準について審議
平成9年10月15日	青年会インターネット研修会
平成9年10月27日	長崎県海外フレンドシップ事業参加（北京、上海2名）
平成9年11月 7日	独身寮入居者全員協議会
平成9年11月13日	活路開拓調査事業先進地視察（大阪他4団地）
平成10年 3月 3日	理事会 転貸金融枠の拡大について審議

平成10年度

平成10年 4月 6日	元船共同事業第五条申請説明会
平成10年 6月 4日	青年部設立記念例会
平成10年 6月 9日	物流セミナー（福岡）
平成10年 6月18日	長崎労政協佐世保支局団地視察
平成10年 7月23日	理事会 日見バイパス道路拡幅工事に伴う組合用地売却について審議
平成10年10月 1日	地域中小企業活性化推進事業委員会
平成10年10月22日	地域中小企業活性化推進事業委員会先進地視察（八戸、青森、盛岡）
平成10年10月23日	経営講習会「金融機関の貸し渋り対策」
平成11年 1月28日	愛媛県労務改善協議会来局
平成11年 2月23日	地域中小卸売活性化委員会視察（西日本物流）
平成11年 3月 3日	熊谷流通センター視察
平成11年 3月25日	共同物流推進についての講演会

平成11年度

平成11年 5月26日	理事会 グラウンド建設について審議
平成11年 6月29日	明誠高校来局
平成11年10月18日	経営講習会「管理者としての心構え」
平成11年10月18日	団地内光ファイバー布設説明会
平成11年10月24日	卸団地テニスクラブ創立20周年記念大会
平成11年11月 2日	物流委員会企業訪問開始（7社）
平成12年 3月 3日	ボーリング大会
平成12年 3月31日	夢彩都 落成式

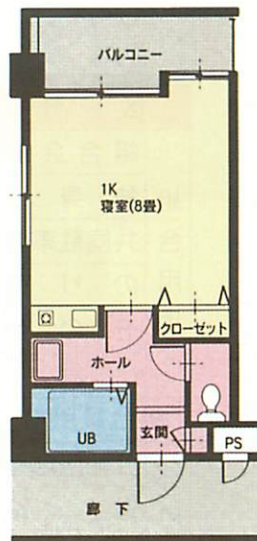
平成12年度

平成12年 5月18日	パソコン研修会
平成12年 6月 5日	先進地視察（熊谷流通センター、横浜マーチャンドライジングセンター）
平成12年 7月17日	青年会設立記念特別例会
平成12年 7月26日	理事会 組合設立30周年記念行事委員会の発足について審議
平成12年 8月21日	Web商団連説明会
平成12年 9月11日	物流効率化委員会先進地視察（熊本）
平成12年11月 2日	第三部会自主研修会
平成12年11月21日	熊本県中小企業労務改善団体連合会来局
平成12年11月23日	長崎県民表彰受賞（武藤理事長）
平成12年11月24日	理事会 組合員企業誘致委員会の設置について審議
平成13年 2月 6日	熊本産業団地来局
平成13年 2月16日	青年会先進地視察（佐世保、福岡）
平成13年 3月21日	部会編成会議

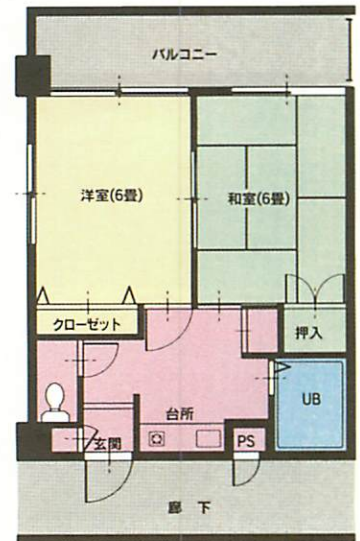


独身寮概要

所在地	長崎市田中町610-5
敷地面積	2,355.42㎡ (712.5坪)
建築面積	516.12㎡ (156.12坪)
延面積	2,140.51㎡ (647.50坪)
構造	鉄筋コンクリート造
階数	6階建 (1~5F寮室)
室数	1K45室 2K10室 合計55室
1 K	7.27坪 ●洋室 (8畳) ●収納●浴室 ●台所 (ミニキッチン) ●冷暖房 ●ベッド
2 K	10.93坪 ●洋室 (6畳) ●和室 (6畳) ●冷暖房 ●浴室 ●台所 (ミニキッチン) ●ベッド
付帯設備	●エレベーター ●コインランドリー (3階) ●アスレチック室 (1階) ●談話ロビー
総投資額	4.4億円



【1K. 平面図】



【2K. 平面図】

配置図



区分	面積 m ²	摘要	
組合用地	組合会館	3,602	組合事務局、展示場、他
	独身寮	2,355	6階建 55室
	共同駐車場	21,287	907台収容
	のり面	142,400	
	その他	12,056	緑地、他
計	181,700		
組合員用地	142,266		
公共用地・その他	公共用地等	64,660	雇用促進住宅、他
	道路	88,171	長崎市に移管
	道路	4,038	建設省に寄付
	その他	22,031	長崎市公園用地、他
計	178,900		
(有効面積)	360,466		
開発面積総計	502,866		

組合員名簿(業種別部会構成)

組合員65社

第1部会

17社(食料品・糖粉・雑穀・油脂・酒類・菓子・飲料)

会社名	業種	代表者	住所	電話番号
(株) 入来屋	砂糖、小麦粉、建材、肥料	脇山 崇	長崎市田中町655-1	837-8251
(協) 西彼酒販	酒類、飲料水、食料品	松崎 一虎	長崎市田中町594-3	837-8150
長崎国分(株)	加工、冷凍、チルド食品	興 梧 秀 徳	長崎市田中町1219	837-8311
長米商事(株)	米穀、砂糖、粉	田中 博	長崎市田中町592-2	837-8155
(有) 緑屋	菓子、製菓品全般	渋谷 幸彦	長崎市田中町1201	837-8160
(株) シバトウ長崎支店	菓子、食品、飲料	林 哲朗	長崎市田中町598-1	837-8165
(株) サンフリース	米穀、砂糖、小麦粉	吉田 節哉	長崎市田中町595-2	837-8235
(株) 丸菱長崎営業所	食品加工原料全般	本田 雅弘	長崎市田中町596-2	837-8585
白熊商事(株)長崎支店	小麦粉、砂糖、菓子原料	西川 正行	長崎市田中町573-1	839-8300
九州牛乳(株)長崎営業所	乳製品、飲料水	江藤 源哉	長崎市田中町588-2	837-8360
トクスイフーズ(株)長崎営業所	冷凍魚貝類	深澤 秋光	長崎市田中町588-1	838-2160
(株) トーホー長崎支店	コーヒー、業務用冷食	野田 淳嗣	長崎市宿町311	839-8850
(株) 三友小網九州支社長崎支店	加工食品、ペットフード	笹田 隆	長崎市田中町595	837-8055
チョコレート醤油(株)長崎支社	醤油、味噌	西 隆 義	長崎市田中町642	839-3151
(資) 白山商店	漬物	白山 信義	長崎市銅座町3-2	822-5565
栗鷹物産(株)長崎営業所	砂糖、雑穀、小麦粉、食材	栗林 鴻志	長崎市田中町573-4	837-8235
(協) 長崎県酒販	酒類、飲料水、食料品	中山 義一	長崎市宿町310	833-0333

第2部会

15社(繊維・靴・バッグ・身の回り・薬品・洗剤・日用雑貨)

会社名	業種	代表者	住所	電話番号
長崎月星(株)	キャンパスシューズ、革靴	中村 慎一	長崎市田中町585-3	837-8125
藤村薬品(株)	医薬品、衛生材料、健康食品	藤村 昌憲	長崎市田中町2022	837-8331
花王販売(株)九州支社長崎支店	石鹸、洗剤、歯磨	香川 尊彦	長崎市田中町2022	837-8005
(株) パルタック長崎営業所	化粧品、石鹸、歯磨、日用雑貨	三木田 國夫	長崎市田中町1290	837-8011
手塚商事(株)	金物類、家庭用雑貨、荒物	手塚 喜三郎	長崎市田中町1235-2	837-8190
(有) 吉次商店	家具、インテリア、リフォーム	岡 淳兵	長崎市田中町1235-2	837-8185
丸 汐(株)	日用雑貨、洗剤、歯磨、線香	八田 和美	長崎市田中町1201	837-8045
前 田(株)	婦人服、紳士服、寝具	前田 隆宏	長崎市田中町1264	837-8222
寿扇苑丸寿(株)長崎支店	帯、呉服、合織、裏地	柳 幸男	長崎市田中町1219	839-8260
(株) 京屋長崎店	マネキン、陳列什器	堀 雅美	長崎市田中町586-5	837-8107
長崎アサヒ販売(株)	革靴、シューズ全般、雨衣類	矢島 康晴	長崎市田中町596-1	837-8411
(株) 三協	ギフト商品、各種カバン	富森 正之	長崎市田中町596-2	837-8120
(株) サンビック長崎支店	石鹸、洗剤、日用雑貨	小野 文明	長崎市田中町581-1	837-8000
(株) 翔	薬 医 薬 品	大黒 治一	長崎市田中町587-2	838-6015
(有) キシカワ	紳士、婦人、子供アウトウェア	岸川 新市	長崎市田中町587-2	838-6015

第3部会

15社(オフィス家具・事務機・OA機器・紙・電気製品)

会社名	業種	代表者	住所	電話番号
(株)オカベ	オフィス家具、事務用品、OA機器	岡部 勝也	長崎市田中町593-2	837-8282
(株)丸本	包装資材、農水産資材	西川 範子	長崎市田中町593-1	837-8205
クラリオン販売(株)長崎営業所	カーオーディオ、カーナビ	田中 雅俊	長崎市田中町1290	837-8230
(株)永池長崎支社	和洋紙、文具、事務器、紙製品	永池 公一	長崎市田中町1235-2	837-8123
三菱鉛筆九州販売(株)長崎営業所	鉛筆、筆記具	平島 國晏	長崎市田中町594-2	837-8017
千代田メディカル(株)長崎営業所	X線フィルム、放射線機器	小野 敏雄	長崎市田中町591-2	837-8273
(株)長崎コクヨ	オフィス用品、オフィス家具	中尾 伸夫	長崎市田中町584-1	837-8241
NECカスタマックス(株)長崎支店	家電製品、通信機、パソコン	片岡 洋一	長崎市田中町586-7	837-8521
(株)コブチ	学校教材、教具、OA機器	小淵 孝	長崎市田中町583-4	837-8407
扇精光(株)	OA機器、測量設計	扇 道憲	長崎市田中町585-4	839-2111
九州製紙資材(株)	紙製品、文具、書道用品、事務機	大隈 毅紘	長崎市田中町571-2	839-3611
児島洋紙(株)長崎営業所	印刷洋紙、新聞用紙、紙加工製品	児島 浩一郎	長崎市田中町582-1	837-8041
(株)イシマル	OA機器、事務用品、オフィス家具	石丸 利行	長崎市田中町587-1	834-0140
(株)三菱電機ライフアシティーズ九州長崎支店	家電製品、電気機械器具	増田 稔	長崎市田中町581-1	837-8174
(株)テクニカルデータ	情報サービス、測量設計、地図作成	岩 永和文	長崎市田中町586-10	813-3331

第4部会

18社(建設資材・運送・車輛・マットリース・他)

会社名	業種	代表者	住所	電話番号
ムトウ電材(株)	電設機材、空調機器、昇降機	武藤 嘉光	長崎市田中町1235-2	837-8015
(株)サンヨー自動車長崎支店	自動車販売、リース、車検	牟田 健一	長崎市田中町599	837-8255
日本乾溜工業(株)長崎支店	交通安全施設資材、土木資材	金井 忠廣	長崎市田中町594-1	837-8555
(株)協栄商会	鋳物用副資材	坂本 正義	長崎市田中町586-1	837-8275
(合)中島博材木店	建築土木用木材、新建材、床材	中島 伊佐夫	長崎市田中町574-1	837-8500
九州産交運輸(株)長崎支店	運送業	坂本 洋一	長崎市田中町574-2	837-8525
村上ホンダ販売(株)	オートバイ、自転車	村上 順三	長崎市田中町581-3	837-8421
テジマ(株)長崎営業所	運送業	手島 寛	長崎市田中町604-2	837-8355
中島木材工業(株)	新建材、建築資材	中島 章一郎	長崎市田中町575-2	837-8500
(株)長崎木材センター	新建材、建築資材	中島 伊佐夫	長崎市田中町613	837-8388
(有)永戸運送	運送業	永戸 章	長崎市田中町2011	837-8094
山二塗料産業(株)	塗料、塗料機械全般	古賀 辰則	長崎市田中町2142	837-8020
(株)クリーン・マット	レンタルマット、清掃用具	田中 勝幸	長崎市田中町573-3	837-8488
(株)丸野	運送業	野上 林八郎	長崎市田中町587	839-2131
(株)フジオカ	石油、コンピュータ、消火機類	藤岡 滋	長崎市田中町582-4	813-8080
マルジン商事(株)	工作機械及び工具	林 潤二郎	長崎市田中町583-1	824-2798
太洋不動産(株)	不動産賃貸・管理	國 弘晴陸	長崎市田中町591-5	837-8416
長崎卸センターサービス(株)	損害保険代理業、不動産賃貸	武藤 嘉光	長崎市田中町1201	838-8622

組合事務局



喜々津

昇

久保
由香理

荒木
敬純

田中
良光

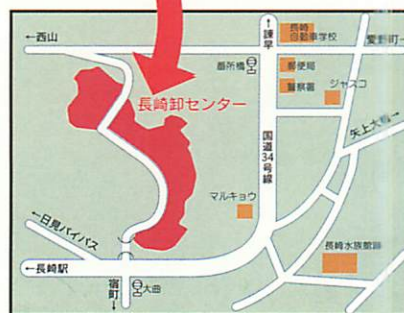
森

千代治

山崎
久美子



(協)長崎卸センター周辺の航空写真



関連会社

- 長崎卸センターサービス(株)
- 代表取締役 武藤嘉光
- 長崎市田中町1201
- 資本金 250百万円
- 従業員 7名
- 業務内容
 - 不動産賃貸業(夢彩都への店舗賃貸)
 - 物品販売業
 - 損保代理店業務
 - (協)長崎卸センター社員の福利厚生事業



代表取締役
武藤 嘉光



専務取締役
浜辺 陸郎

＜あとがき＞

協長崎卸センターは創立30周年の記念の証として、過去の歩みを記録し、新たな21世紀へ向けてのステップとして、記念誌を発行することになりました。

顧みますと昭和47年、手づくりの団地として現在地に山林を切り開き15万坪の団地を造った訳ですが、地権者223名に対する用地買収から宅地造成までを一貫して組合が独自で行いました。

この間、のり面の地滑りによるアクシデントに見舞われ「切り通し」を「トンネル」工法に変更したり、オイルショックによる資金繰り難から団地の一部を公共用地として売却せざるを得なくなったり、更には57年7月の長崎大水害(死者295名)には、売掛債権の回収遅延や回収不能が発生するなど、正に波瀾万丈の創成期(10年間)でした。

次の10年間はいわば団地の成熟期とも言うべき時代で、組合員企業の業績も大幅に拡大成長し、団地の一体性や営業基盤も確立し、県南の物流拠点としての地歩を固めた時代でした。

そして、バブル崩壊後現在に到る10年間は、卸売業の経営環境は大きく変貌し、大変厳しい局面を迎えています。即ち、消費者ニーズの多様化、ボーダレス化、高度情報化の急速な進展による流通経路の短縮化、高速道路網の整備による流通構造の変化、大手スーパーの増大、コンビニエンスストア等小売業態の変化など、卸売業の存立基盤そのものを大きく揺るがせています。

こういう時こそ、我々組合員企業は一致団結し、既存の枠組みにとらわれることなく、新しい切り口、柔軟な発想のもと、高齢化社会をも視野にいれて、創意工夫をし、新しい時代に即応した、方向性や在り方を模索する必要があるのではないのでしょうか。

当委員会は12年9月に立ち上げて以来、1年8ヶ月の長丁場を経て、漸く編纂を終えることができました。この間委員各位や事務局の皆様方、並びに関係各位の多大なご協力に対し深く感謝申し上げますと共に、本書が次のステップへの何らかの糧となりますれば幸いです。

平成14年5月

30周年記念行事特別委員会

委員長	村上幸三				
副委員長	田中勝幸				
委員	脇山崇	西野彦三郎			
	西川範子	坂本正義			
	石丸利行	橋口博巳			
	藤村昌憲	浜辺陸郎			
	岡淳兵	田中良光			
	永戸章	荒木敬純			
	作永利光	森千代治			

協同組合長崎卸センター

〒851-0134 長崎市田中町1201

TEL(095)837-8111 FAX(095)837-8081

<http://www.mesh.ne.jp/nagasaki-oroshi/>

E-mail:n-orosi@mue.biglobe.ne.jp